飛騨みやがわ考古民俗館におけるオンライン交流の実践

三好 清超

はじめに

館という。)も例外ではない。
五万点あまりを収蔵展示する飛騨みやがわ考古民俗館(以下、考古民俗博物館等は臨時休館を余儀なくされている。民俗資料三万点、考古資料博物館等は臨時休館を余儀なくされている。民俗資料三万点、考古資料

相互交流のために、今回の実践内容を記したい。

相互交流のために、今回の実践内容を記したい。

は立う方で飛騨の縄文めぐり」を実施した。ユーチューブで行うような一方通行の配信ではなく、ギャラリートークのように参加者と一体感な一方通行の配信ではなく、ギャラリートークのように参加者と一体感な一方通行の配信ではなく、ギャラリートークのように参加者と一体感を構築する交流を大きな目標とした。申し込みは、北海道から鳥取までな一方通行の配信ではなく、ギャラリートークのように参加者と一体感を見たかったものと推察される。今後全国に広まるであろうオンライン企る団体・石棒クラブとで、参加者との相互交流を目指したオンライン企る団体・石棒クラブとで、参加者との相互交流のために、今回の実践内容を記したい。

一 「おうちで飛騨の縄文めぐり」の概要

(一) 目的

門中、飛騨市は観光や帰省目的の方で賑わう。しかし、今年は新型肺炎例年四月末から五月初めにかけての、いわゆるゴールデンウィーク期

はじめ、通常のように博物館に行けない方を対象に、オンラインにて飛本事業は、飛驒市に帰省できない方、飛驒市に旅行予定であった方を拡散防止に伴う自粛のため、例年とは異なる状況となった。

騨みやがわ考古民俗館を発信することを目的とした。

(二) 概要

日時:令和二年五月三日(日·祝)

第一部:オンラインツアー 一六~一七時

にて自宅のパソコンやスマートフォン等から参加参加方法:200M(オンラインミーティング用のアプリケーション)

費用:無料

広報:飛騨市ホームページやSNS及び申し込みサイト等申し込み:Peatix(イベント管理サービスサイト)を利用

三) 相互交流を達成するために

古民俗館オンラインツアーである。
内容は、二部構成とし、第一部が教育委員会・石棒クラブが主催の考

だかける形とし、ゲストにそれらを考慮して質問していただいた。 を加者との一体感の醸成、交流を目指し、講義形式ではなくZOOM がらはZOOMのチャット機能やツイッターで学芸員に随時質問を投いらはZOOMのチャット機能やツイッターで学芸員の解説に対して不明にんだあきこ氏をお招きした。これにより、学芸員の解説に対して不明にんだあきこ氏をお招きした。これにより、学芸員の解説に対して不明にがあった場合、随時質問を投げかける形とした。さらに、参加者がらはZOOMのチャット機能やツイッターで学芸員に随時質問を投いた。 を加者との一体感の醸成、交流を目指し、講義形式ではなくZOOM

(四) 現場での準備事項

方が持ち運びに適した。接続はモバイルルーターを用いた。当初はiPadを二台準備したが、音声用デバイスはスマートフォンのFFとした。ハウリングを防ぎ、鮮明な画像と音声を送るためである。ットもON、画像用デバイスでは音声のインプットもアウトプットもOデバイスを別とした。音声用デバイスでは音声のインプットもアウトプデバイスを別とした。音声用デバイスでは音声を獲得するマイクの考古民俗館側では、画像を獲得するカメラと音声を獲得するマイクの

ナウンスした。 ナウンスした。

二 企画における役割分担

かを随時チェックした。機械操作が分からずに押してしまう人がいるとットチェックを兼ねた。サブ司会②は、参加者がミュートになっている影と最後の集合写真撮影、マイクと映像のリアルタイムチェック、チャ始まってからチャットチェックも兼ねた。サブ司会①は、適宜様子の撮ー名、トラブル対応(東京にいる司会と裏でやり取り、マイクや映解説一名、トラブル対応(東京にいる司会と裏でやり取り、マイクや映解説一名、トラブル対応(東京にいる司会と裏でやり取り、マイクや映解説一名、トラブル対応(東京にいる司会と裏でやり取り、マイクや映解説一名、トラブル対応(東京には、最低三名常駐とした。カメラー名、

達したことを考えると、結果的に妥当な配置と考えている。
・・で画側は七名配置したことになる。これは参加申し込みが二○○名にツイッターであがる質問を、随時内容チェックする担当も配置した。て入ってくる人がいた場合の危機管理も担ったことにもなった。また、解説中にも音声が入ってしまうためである。結果として、意図的に押し

二 総括

つか制限があることも否めず、今後改善を図りたい。 つか制限があることも否めず、今後改善を図りたい。 つか制限があることも否めず、今後改善を図りたい。

おわりに

ン相互交流発展に寄与できれば幸いである。が逸早く着手した。ここに手順と成果等を共有し、博物館等のオンライが逸早く着手した。ここに手順と成果等を共有し、博物館等のオンライでに同様の手法で実施を検討している館が全国で見られるが、当館